



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,837	△14.0	△1,277	—	△1,233	—	△1,551	—
2025年3月期第3四半期	7,955	△14.0	△332	—	△261	—	△316	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △1,222百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △217百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△68.68	—
2025年3月期第3四半期	△14.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	13,993	5,669	40.5	251.02
2025年3月期	16,775	7,253	43.2	321.14

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,669百万円 2025年3月期 7,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,350	△10.4	△1,350	—	△1,400	—	△1,700	△75.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	24,740,000株	2025年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,153,569株	2025年3月期	2,153,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	22,586,431株	2025年3月期3Q	22,586,433株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、大型案件終了に伴う売上減少を新規案件により補うことができなかった米国が前年同期比で大幅な減収となったこと等により、連結の売上高は6,837百万円（前年同期比14.0%減）となりました。利益面では、台湾、中国が営業黒字を確保するとともに、日本は増収により営業損失が縮小、韓国も減収となったものの原価発生を抑えたことにより営業損失が僅かに縮小しましたが、米国、欧州で営業損失が大きく発生した結果、営業損失は1,277百万円（前年同期は332百万円の営業損失）となりました。経常損失は1,233百万円（前年同期は261百万円の経常損失）となりました。また、中間連結会計期間末に繰延税金資産を取り崩したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,551百万円（前年同期は316百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループはセグメント区分を変更し、CRO事業の単一セグメントとなったため、セグメント別の記載をしておりません。

② 地域別の状況

日本においては、複数の大型既存案件の中止や期間短縮の契約変更が発生した影響により前期は大幅な減収となりましたが、現況は国内外の製薬会社から日本での案件を複数受託し受注状況は回復傾向にあり、前年同期比で増収となり、利益面でも営業損失が縮小しました。日本ではドラッグ・ロスが深刻な社会課題となっており厳しい市場環境が続いていますが、欧米及びアジア事業と連携し国内外の営業活動を継続することで受注を獲得しております。引き続き人員稼働率向上のための施策の遂行と経費の厳密な管理により業績改善に努めます。

米国においては、米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験の受注内諾を得て契約締結手続きを進めており、契約が完了した一部は受注残高に計上され売上高に寄与しておりますが、米国での政府機関閉鎖等の影響により治験の開始時期が遅れることとなったこと等もあり、大型案件終了に伴う売上減少を補うことができず、前年同期比で大幅な減収、営業赤字となりました。引き続き、有望な米国市場において既存顧客との取引拡大と有望なバイオテックからの新規案件獲得に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、前年同期比で増収となったものの、外注費の増加もあり営業損失が拡大しました。引き続き受注拡大に向け米国等他拠点と連携し営業活動に注力するとともに、稼働率を高め収益改善に努めます。

韓国においては、複数の既存案件で顧客都合による中断が発生したことで、前年同期比で減収となりましたが、原価発生を抑制したことから営業損失は僅かに縮小しました。引き続き日本・アジア地域事業と連携し、国内外企業からの受注獲得に向け営業活動を進めてまいります。

中国においては、前年同期比で増収となり、営業黒字となりました。足元では日系中堅製薬企業の中国市場への関心が高まっており、引き続き営業活動を継続してまいります。

台湾においては、新規案件の獲得等により前年同期比で増収となり、利益面でも営業黒字となりました。国内外で開発を進める台湾バイオテック等から複数の新規案件を獲得しており、引き続き積極的な営業活動を継続しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,781百万円（16.6%）減少し、13,993百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,197百万円（12.6%）減少し、8,323百万円となりました。これは、主に預り金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,583百万円（21.8%）減少し、5,669百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務や新薬発売後の臨床研究では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

		2025年 3月期末 (A)	2026年3月期		増減率% (B-A)/A
			第3四半期末	2026年2月 13日時点 (B)	
受注残高		11,737	10,622	12,702	8.2
地域別	日本	4,350	4,242	4,378	0.6
	米国	2,756	2,242	2,892	4.9
	欧州	3,192	2,188	3,387	6.1
	アジア	1,437	1,948	2,043	42.2

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本においては、ドラッグ・ロス等による厳しい事業環境が続いておりますが、複数の新規案件の獲得や契約変更により、2025年3月期末から受注残高は増加いたしました。また、日系製薬会社から、当社日本拠点がプロジェクト管理する豪州・アジア試験を受注するなど、豪州拠点設立による効果が発現し始めております。

米国においては、米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験を受注し、その一部の契約締結が完了したことや主に米国で実施される新規案件の契約が完了したこと等により2025年3月期末から受注残高が増加いたしました。なお、上述のとおり、受注案件のうち契約締結前の複数案件は上記の受注残高には含まれておらず、今後契約が完了した時点で受注残高に追加される予定です。また、バイオテックを中心にグローバル案件を含む多数の案件の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく営業活動に注力しております。

欧州においては、既存案件の期間延長や工数追加の契約変更、上述の米国が受注した大型国際共同治験のうち契約が完了した欧州分の計上による受注残高の増加に加え、主に欧州で実施される新規案件の契約が完了したこと等により、2025年3月期末から受注残高が増加いたしました。なお、上述の大型国際共同治験のうち契約締結手続き中のものなど、上記の受注残高には含まれない契約締結前の案件があります。米国事業を中心にグローバル・シナジーをさらに強化することで、欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

アジア地域においては、台湾子会社が台湾国内及び米国で実施するグローバル試験を含む複数の新規案件を受託し、2025年3月期末から大きく受注残高が増加しました。台湾のバイオテックは当初から米国市場に高い関心があり、米国拠点をもつ当社の強みを活かし更なる新規案件の開拓を進めております。韓国では韓国国内での新規の受注獲得があったことや、グループ会社を経由したデータマネジメント・統計解析業務等を含む複数の新規案件の契約を締結した結果、2025年3月期末から受注残高が増加いたしました。日本・アジアと欧米の営業チームが連携し、欧米バイオテックを日本・アジアに誘致するとともに、世界最大の米国市場を目指し豪州経由で、もしくは当初から北米で治験を開始する日本・アジアのバイオテックの開発ニーズにも対応することで受注獲得を目指します。

以上の受注環境のもと、2026年2月13日時点の受注残高は127億円となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,039,571	5,152,385
売掛金及び契約資産	2,774,194	2,396,620
前払費用	243,949	274,270
立替金	841,301	772,088
その他	763,363	691,786
貸倒引当金	△35,183	△36,864
流動資産合計	11,627,196	9,250,287
固定資産		
有形固定資産	395,396	381,871
無形固定資産		
のれん	3,144,985	3,065,994
その他	94,944	82,715
無形固定資産合計	3,239,929	3,148,709
投資その他の資産		
投資有価証券	272,500	254,963
長期前払費用	23,215	20,984
差入保証金	387,839	370,405
繰延税金資産	829,225	566,485
投資その他の資産合計	1,512,779	1,212,838
固定資産合計	5,148,106	4,743,419
資産合計	16,775,302	13,993,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	400,008	400,008
未払金	625,898	626,227
未払費用	296,258	271,358
未払法人税等	27,781	16,940
未払消費税等	3,105	34,889
前受金	2,420,387	2,284,856
預り金	2,755,857	1,727,902
賞与引当金	197,669	129,680
その他	150,247	105,645
流動負債合計	7,477,214	6,547,510
固定負債		
長期借入金	1,099,942	799,936
リース債務	228,044	203,418
退職給付に係る負債	693,219	749,009
その他	23,425	24,087
固定負債合計	2,044,630	1,776,451
負債合計	9,521,845	8,323,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	6,437,301	4,524,750
自己株式	△657,464	△657,464
株主資本合計	5,993,881	4,081,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,449	17,731
為替換算調整勘定	1,193,809	1,539,176
退職給付に係る調整累計額	41,317	31,508
その他の包括利益累計額合計	1,259,576	1,588,416
純資産合計	7,253,457	5,669,745
負債純資産合計	16,775,302	13,993,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,955,222	6,837,591
売上原価	6,097,601	5,726,653
売上総利益	1,857,621	1,110,937
販売費及び一般管理費	2,189,769	2,388,345
営業損失(△)	△332,148	△1,277,408
営業外収益		
受取利息	41,768	35,452
為替差益	42,370	—
投資有価証券評価益	578	64,777
営業外収益合計	84,717	100,229
営業外費用		
支払利息	12,548	14,313
為替差損	—	40,621
投資有価証券評価損	1,397	1,495
営業外費用合計	13,946	56,429
経常損失(△)	△261,377	△1,233,608
特別損失		
固定資産除却損	1,038	1,246
特別損失合計	1,038	1,246
税金等調整前四半期純損失(△)	△262,416	△1,234,854
法人税、住民税及び事業税	162,216	20,243
法人税等調整額	△107,713	296,071
法人税等合計	54,502	316,314
四半期純損失(△)	△316,918	△1,551,168
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△316,918	△1,551,168

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△316,918	△1,551,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,627	△6,717
為替換算調整勘定	110,963	345,367
退職給付に係る調整額	△9,910	△9,809
その他の包括利益合計	99,425	328,840
四半期包括利益	△217,492	△1,222,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,492	△1,222,328

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

「当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来CRO事業と育薬事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間よりCRO事業の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2025年4月に実施した組織変更を機に、取締役会による経営資源配分の決定や業績評価の観点から報告セグメントについて再検討した結果、CRO事業の単一セグメントとすることが当社グループの意思決定プロセスをより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	124,464千円	105,014千円
のれんの償却額	276,433	274,160

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
日本	2,462,301	2,635,134
米国	2,812,845	1,704,887
欧州	2,039,466	1,778,282
アジア	640,609	719,286
顧客との契約から生じる収益	7,955,222	6,837,591
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	7,955,222	6,837,591

(注) 地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国または地域に分類しております。